

春期テキスト

必修編

国語

中学  
新

3年



基本問題

1 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

久しく隔<sup>ひだ</sup>りて逢<sup>あ</sup>ひたる人の、我が方<sup>かた</sup>にありつる事、かずかずに残りなく語<sup>かた</sup>り  
長い間離れていて 自分のほうにあったこと

つづくるこそ、あいなけれ。隔<sup>へだ</sup>てなくなれぬる人も、ほどへて見るは、はづか  
興<sup>おこ</sup>さぬものだ 分け隔<sup>へだ</sup>てなくなれぬる人 恥<sup>かたじけな</sup>ずかし

しからぬかは。つぎさまの人は、あからさまに立ち出<sup>い</sup>でてでも、今日<sup>けふ</sup>ありつる事  
いものだ 教養<sup>きやう</sup>や品位<sup>ひん</sup>のない人 ちよっと出<sup>い</sup>かけても

とて、息もつぎあへず語り興<sup>おこ</sup>ずるぞかし。よき人の物語<sup>ものがたり</sup>するは、人あまたあれ  
おもしろがるものだ 教養<sup>きやう</sup>ある立派<sup>りっぺい</sup>な人

ど、ひとりに向<sup>むか</sup>ひて言<sup>い</sup>ふを、おのづから人も聞<sup>き</sup>くにこそあれ。よからぬ人は、  
無<sup>む</sup>教養<sup>きやう</sup>の人

誰<sup>たれ</sup>ともなく、あまたの中にうち出<sup>い</sup>でて、見<sup>み</sup>ることのやうに語りなせば、皆<sup>みな</sup>同じ  
大勢<sup>たいせい</sup>の中<sup>ちゆう</sup>に乗り出<sup>い</sup>して

② 笑<sup>わら</sup>ひののしる、いとらうがはし。をかしき事を言<sup>い</sup>ひても、いたく興<sup>おこ</sup>ぜぬと、  
たいそう騒<sup>さわ</sup>がしい

興<sup>おこ</sup>なき事を言<sup>い</sup>ひても、よく笑<sup>わら</sup>ふにぞ、品<sup>しな</sup>のほど計<sup>はか</sup>られぬべき。〈徒<sup>た</sup>然<sup>ぜん</sup>草<sup>そう</sup>〉より  
人品<sup>じんぴん</sup>の程度<sup>ていど</sup>ははかられてしまふだらう

問1 主語 — 線①「語りつづくる」の主語を、古文中から十一字で抜き出  
しなさい。

問2 古語の意味 — 線②「笑ひののしる」の意味として適切なものを次か  
ら一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見下して笑う イ 何度も笑う  
ウ 笑い騒ぐ エ 笑いをこらえる

問3 内容理解 この古文で筆者は、教養のある人とはどのような人だと述べ  
ていますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おもしろくない話を聞いても、相手を氣遣<sup>きぢ</sup>つておもしろがる人。  
イ 自然と他のみんなも耳を傾<sup>かたむ</sup>けてしまうような話をする人。  
ウ 今日あった出来事を、目の前で見ているかのように話す人。  
エ 久しぶりに会った人に、自分のほうにあったことを話し続ける人。

2 次の漢文と書き下し文を読んで、後の問いに答えなさい。

孔子曰、舟非水不行、水入舟則没。君非民不  
治、民犯上則傾。是故君子不可不嚴也。小人  
不可不整一也。

孔子曰く、<sup>③</sup>水舟に入らば則ち没す。君民に非ざれば治まらざ  
るも、民上を犯さば則ち傾く。是の故に君子は嚴ならざるべからざるなり。  
小人は整一にせざるべからざるなり、と。  
(注) 小人不可不整一也 〓 民は一つに治めておかなければならない。

問1 書き下し文 — 線①「舟非水不行」を、書き下し文に直し  
て書きなさい。ただし「不」は平仮名で書くものとします。

問2 返り点 — 線②「水入舟則没」に、返り点を付けなさい。

問3 内容理解 — 線③「水」、線④「舟」は、それぞれ何をたとえた  
ものですか。次の文のA・Bに当てはまる言葉を漢文中からそれぞれ  
漢字二字で抜き出しなさい。

「水」は「民」もしくはAをたとえており、「舟」は「上」もしくは  
Bが治める国家をたとえている。

水入舟則没

A B





言語 1 同音異字・同訓異字・同音異義語

漢字の読み書き

次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 蜂に刺される。
- ② 食べずに辛抱する。
- ③ 自ら墓穴を掘る。
- ④ 不吉な予感。
- ⑤ 肩を痛める。
- ⑥ 窮屈な座席。
- ⑦ 本のページを繰る。
- ⑧ 大きな扉。
- ⑨ 天罰が下る。
- ⑩ 悪い癖が出た。
- ⑪ 宿坊に泊まる。
- ⑫ 人前で号泣する。
- ⑬ 知恵を授かる。
- ⑭ かんざしを挿す。
- ⑮ 歌詞に韻を踏む。
- ⑯ 合格をキガンする。
- ⑰ 音楽のカンショウ。
- ⑱ ハズカシイ失敗。
- ⑲ お菓子のフクロ。
- ⑳ ハマベを歩く。
- ㉑ キソを固める。
- ㉒ 肉をレイトウする。
- ㉓ 美しくサク花。
- ㉔ ユウワクに勝つ。
- ㉕ 権利のカクトク。
- ㉖ ジョキンをする。
- ㉗ 口に水をフクム。
- ㉘ シールをハガス。
- ㉙ 猫がねずみをカル。
- ㉚ 長いキヨリを歩く。

1 同音異字

次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① ソク
  - A 規ソクを守る。
  - B 高さの計ソク。
  - C 危ケンな場所。
- ② ケン
  - A 機械を点ケンする。
  - B 規ソクを守る。
  - C 高さの計ソク。

2 同訓異字

次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① つく
  - A 後ろから棒でつく。
  - B 新しい職につく。
  - C 十時に駅につく。
- ② たつ
  - A 新しい校舎がたつ。
  - B ドアのそばにたつ。
  - C 旧友との関係をたつ。
- ③ かわる
  - A 予定がかわる。
  - B 当番をかわる。
  - C 前後が入れかわる。

3 同音異義語

次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① キコウ
  - A ビルのキコウ式に参加する。
  - B 沖繩旅行のキコウ文を書く。
  - C 穏やかで過ごしやすいキコウである。
- ② シユウセイ
  - A 間違いをシユウセイする。
  - B 動物のシユウセイについて調べる。
  - C 今日のことはシユウセイ忘れないだろう。

言語

2

慣用句・ことわざ・故事成語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 幾何学模様の壁紙。
- ② 身も蓋もない。
- ③ 若者が集う。
- ④ 子守唄を聞かせる。
- ⑤ 粗品を進呈します。
- ⑥ 発展に尽力する。
- ⑦ 大きな器に盛る。
- ⑧ 己を信じて進む。
- ⑨ 茎を切りそろえる。
- ⑩ 注文を承る。
- ⑪ パラの香り。
- ⑫ お金が要る。
- ⑬ 賃貸の家に住む。
- ⑭ 揺るぎない自信。
- ⑮ 緊密な連携を図る。
- ⑯ 馬に水をアタエル。
- ⑰ 弟とイッショ。
- ⑱ 一時間のチョウカ。
- ⑲ カクウの人物。
- ⑳ 作家のズイヒツ。
- ㉑ 駅のチュウリン場。
- ㉒ 害虫をクジヨする。
- ㉓ 小麦のシユウカク。
- ㉔ 特使をハケンする。
- ㉕ マンルイになる。
- ㉖ オツな味がする。
- ㉗ ボウケンはしない。
- ㉘ 教科書ジュンキヨ。
- ㉙ 家のシユウゼン。
- ㉚ 試合のジツキヨウ。

1 慣用句 次の慣用句の□に当てはまる身体の部分を表す漢字を書きなさい。

- ① あげ □ を取る
- ② □ によりをかける
- ③ 寝 □ に水
- ④ □ 塩にかける
- ⑤ □ で風を切る
- ⑥ 木で □ をくくる

2 ことわざ 次のことわざと同じような意味のことわざを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 豆腐にかすがい
  - ② 急がば回れ
  - ③ 猫に小判
  - ④ 猿も木から落ちる
  - ⑤ 月とすっぽん
  - ⑥ 早いが勝ち
  - ア 先ずれば人を制す
  - イ ぬかにくぎ
  - ウ 河童の川流れ
  - エ 馬の耳に念仏
  - オ ちようちんに釣鐘
  - カ せいては事をし損じる
- ① □
- ② □
- ③ □
- ④ □
- ⑤ □
- ⑥ □

3 故事成語 次の意味の故事成語として適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 似たり寄ったりで、大差のないこと。
  - ② 物事を完成させるための、最後の仕上げのこと。
  - ③ 必要のないことを、あれこれと心配すること。
  - ア 画竜点睛
  - イ 五十歩百歩
  - ウ 杞憂
  - エ 登竜門
  - オ 矛盾
- ① □
- ② □
- ③ □

言語 3 類義語・対義語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 峠の茶屋に寄る。
- ② 稲の穂が出るころ。
- ③ 母方の遠縁。
- ④ 友達に嫉妬する。
- ⑤ 冬は唇が乾く。
- ⑥ その話は蛇足だ。
- ⑦ 伝染病を撲滅する。
- ⑧ 厄介な事件。
- ⑨ 親の教えに背く。
- ⑩ 緩急をつけて話す。
- ⑪ 裾が広がる。
- ⑫ 罵声を浴びせる。
- ⑬ 杉の木を植える。
- ⑭ 自身の不運を嘆く。
- ⑮ 瞬時に移動できる。
- ⑯ 選択にクノウする。
- ⑰ ケイゾクは力なり。
- ⑱ ザンニンな犯行。
- ⑲ 東海道をトウハする。
- ⑳ カガヤカシイ未来。
- ㉑ ケツコン式に出る。
- ㉒ カジヨウ書きする。
- ㉓ 敵のチョウハツ。
- ㉔ 気がテントウする。
- ㉕ 川辺にカメがいる。
- ㉖ 祖父の家にトマル。
- ㉗ レットウ感を抱く。
- ㉘ 弟とヒカクされる。
- ㉙ ハンを廃し県を置く。
- ㉚ 音量をシボル。

1 類義語 次の言葉の類義語をそれぞれ後の□から一つずつ選び、漢字に直して書きなさい。

- ① 安全 〓 ( )
- ② 支配 〓 ( )
- ③ 進歩 〓 ( )
- ④ 準備 〓 ( )
- ⑤ 有数 〓 ( )
- ⑥ 賛成 〓 ( )

くっし こうじょう ぶじ くんりん どうい ようい

2 対義語 次の言葉の対義語を、それぞれ□に漢字を入れて完成させなさい。

- ① 悪意 ↓ □
- ② 偶然 ↓ □
- ③ 絶対 ↓ □
- ④ 敏感 ↓ □
- ⑤ 退化 ↓ □
- ⑥ 当選 ↓ □

3 対義語 次の言葉の対義語を、漢字二字で書きなさい。

- ① 形式 ↓ □
- ② 生産 ↓ □
- ③ 拡大 ↓ □
- ④ 定期 ↓ □
- ⑤ 理想 ↓ □
- ⑥ 禁止 ↓ □

言語 4

敬語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 即座に答える。
- ② 伏線を張っておく。
- ③ 山に苗木を植える。
- ④ 盛大な祭り。
- ⑤ 屈辱に耐える。
- ⑥ 滴が落ちる。
- ⑦ 爽やかな一日。
- ⑧ かわいい娘さん。
- ⑨ 目を背ける。
- ⑩ 首相が答弁する。
- ⑪ 情報を公にする。
- ⑫ 時間を費やす。
- ⑬ 手当てを施す。
- ⑭ 奇縁で結ばれる。
- ⑮ 愛称で呼ばれる。
- ⑯ 人気をドクセンする。
- ⑰ アイマイな説明。
- ⑱ 大声でサワグ。
- ⑲ テキジンを攻める。
- ⑳ 玄関のカギ。
- ㉑ ヨクヨウのある声。
- ㉒ クラヤミを歩く。
- ㉓ 川の水がスム。
- ㉔ ハクシユをする。
- ㉕ カンメイを受ける。
- ㉖ ヤクザイ師の資格。
- ㉗ 観客の目をウバウ。
- ㉘ イセキを発掘する。
- ㉙ 食物をタクワエル。
- ㉚ トクシユな才能。

1 敬語 次の——線の敬語の種類として適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 父の代わりに私が承ります。
- ② その商品は、あちらの棚にございます。
- ③ おばさんが、お土産をくださった。

ア 尊敬語    イ 謙讓語

ウ 丁寧語

①

②

③

2 敬語 次の尊敬語を指定字数で、普通の語に直しなさい。

① おっしゃる (二字)

② なさる (二字)

③ 召しあがる (三字)

④ ご覧になる (二字)

3 敬語 次の——線の語を適切な敬語表現に直しなさい。

- ① 展覧会で先生の作品をご覧になる。
- ② 先生のご予定を尋ねる。
- ③ おじさんから本をもらう。
- ④ 今日、父は家にいらっしゃいます。

( ) ( ) ( ) ( )

ヒント

1 尊敬語：聞き手や第三者の動作や事物を敬う場合に用いる。  
 謙讓語：話し手が、自分の側をへりくだって言う場合に用いる。  
 丁寧語：聞き手に対して、話しぶりを丁寧にする場合に用いる。  
 ※丁寧語には、接頭語「お」「ご」を使って上品さを表す「美化語」もある。

3 ④自分の身内である父の動作には、謙讓語を用いる。

言語 5 自立語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 結果に納得する。
- ② 朝顔の双葉。
- ③ 一汁一菜の食事。
- ④ ガラスの破片。
- ⑤ 春が訪れる。
- ⑥ 紡績会社を営む。
- ⑦ かばんを提げる。
- ⑧ メロンが熟れる。
- ⑨ 学問を究める。
- ⑩ 今日は忙しい。
- ⑪ 処方箋を受け取る。
- ⑫ 顎がはずれる。
- ⑬ 事態を把握する。
- ⑭ 口の周りを拭う。
- ⑮ 献立を考える。
- ⑯ 神経をシゲキする。
- ⑰ 相手のコウゲキ。
- ⑱ トダナに入れる。
- ⑲ ロテンで商う。
- ⑳ 入部をススメル。
- ㉑ センパイの指導。
- ㉒ 英語のコウテイ文。
- ㉓ 肉のシボウ。
- ㉔ 人に道をタズネル。
- ㉕ チンモクを守る。
- ㉖ ヒナン訓練。
- ㉗ 経費のルイケイ。
- ㉘ 校内ジュンカイ。
- ㉙ ナミダがこぼれる。
- ㉚ 弟が起きるコロダ。

ヒント

- ①・③ 活用があるかないか、どの言葉を修飾しているかなどで判断する。活用がある場合は終止形に直して判断する。
- ② 接続詞の前後がどのような関係でつながるかで判断する。

- 1 自立語 次の——線の品詞名を漢字で書きなさい。
- ① 爽やかな朝だった。
  - ② 雨もやがてやむだろう。
  - ③ その本を読みたい。
  - ④ こんにちは、お元気ですか。
  - ⑤ 映画はおもしろかった。
  - ⑥ あまりの大きさに驚かされる。
- 2 自立語 次の□□に当てはまる接続詞を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。
- ① おにぎりを食べようかな、□□、ラーメンを食べようかな。
  - ② 用言とは、□□、動詞、形容詞、形容動詞のことだ。
  - ③ 横を見た。□□、かわいい猫がそばにいた。
  - ④ 朝は晴れていた。□□、昼から雨が降った。
- 3 自立語 次の各組の——線のうち、他と品詞が異なるものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
- |            |              |     |     |     |     |
|------------|--------------|-----|-----|-----|-----|
| ウ つまり      | エ すると        | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ア それとも     | イ しかし        | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ウ かなり寒い。   | エ ずっと続ける。    | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ア かなり寒い。   | イ 小さな家。      | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ウ ついに実現する。 | エ ずっと続ける。    | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ア 一本の木がある。 | イ ある日の出来事。   | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ウ わが国の歴史。  | エ たいした数ではない。 | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ア 変な生き物。   | イ 愉快な音楽。     | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |
| ウ おかしな出来事。 | エ 不思議な体験。    | ① □ | ② □ | ③ □ | ④ □ |

言語

6

用言

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 有名な作家の戯曲。( )
- ② 外科手術を受ける。( )
- ③ 事件の発端。( )
- ④ 幻と消えた。( )
- ⑤ 五時には戻る。( )
- ⑥ 自信を喪失する。( )
- ⑦ 腎臓の働き。( )
- ⑧ 適応力に優れる。( )
- ⑨ 速やかに退去する。( )
- ⑩ 書齋として使う。( )
- ⑪ 人柄がよい。( )
- ⑫ 明治維新。( )
- ⑬ 本の要旨を捉える。( )
- ⑭ お寺の鐘が鳴る。( )
- ⑮ 腰を据える。( )
- ⑯ 鹿を撃つリョウシ。( )
- ⑰ 河川の水質オタク。( )
- ⑱ 時計がコワレル。( )
- ⑲ インケンな目つき。( )
- ⑳ タイシン構造。( )
- ㉑ 砂糖がトケル。( )
- ㉒ 植物のサイボウ。( )
- ㉓ ジャガイモをホル。( )
- ㉔ 入りエで釣った魚。( )
- ㉕ カベを塗りかえる。( )
- ㉖ 別れはサビシイ。( )
- ㉗ ボウシを脱ぐ。( )
- ㉘ 食品がフハイする。( )
- ㉙ 戦力のブンセキ。( )
- ㉚ オレとお前の仲。( )

ヒント

- ① 動詞：変格活用以外の動詞の活用種類は「ナイ」を付けて見分ける。  
例「話す」↓「話しナイ」↓「ナイ」の直前がア段なので五段活用。
- ③ 形容詞・形容動詞：活用語尾が決まっているので、覚えておく。

- ① 動詞 次の動詞の活用の種類を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。  
 ① 来る    ② 勉強する    ③ 見る    ④ 読む    ⑤ 受ける  
 ア 五段活用    イ 上一段活用    ウ 下一段活用  
 エ サ行変格活用    オ カ行変格活用
- ② 動詞 次の——線の動詞の活用形を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。  
 ① 今夜はテレビを見ない。    ② 私は発表会に出ます。  
 ③ 帰るときには教えてくれ。    ④ あの服を買えばよかった。  
 ⑤ もっと早く来い。    ⑥ 駅まで必死に走る。
- ③ 形容詞・形容動詞 次の——線の形容詞・形容動詞の活用形を漢字で書きなさい。  
 ① その風景は美しかろう。    ② だんだん楽しくなってきた。  
 ③ きれいな花が咲いた。    ④ 元気ならば遊びに行こう。

|   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ( ) | ② | ( ) | ③ | ( ) | ④ | ( ) | ⑤ | ( ) | ⑥ | ( ) |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|

弊社サンプルをご覧いただき、  
ありがとうございました。



# 紙面サンプルは ここまでです！

Bunri Teachers' Site へのご登録で、  
全ページ見本\*と目次をご覧いただけます。

※一部教材を除く

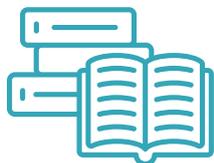
会員登録はこちら



## Bunri Teachers' Site とは？

株式会社文理が運営する、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

文理の教材紹介



デジタルサービスや  
テストのお申込み



教育情報の発信



オンラインセミナー  
のお知らせ

